（別添資料１）

事業所名　step

支援プログラム（参考様式）

作成日　2025 年　1 月　1 日

法人（事業所）理念	●「簡単なことを正確にする」の理念のもと、豊かな人生を歩む力を育む。	
支援方針	●一人ひとりの子どもが、どの様な状態であっても、今その子どもが可能な限りより良い方向へ向いている状態＝「健全な状態」へと導きます。 ●心身・精神・知性の健全な発達ができるよう育みます。	
営業時間	午前　9　時　00　分から　17　時　00　分まで	送迎実施の有無　あり　（なし）
	支　援　内　容	
本人支援　健康・生活	●基的生活スキルの獲得・・・食事、衣服の着脱、排せつ、身なりを整えるなどの生活に必要となる基本的技能の習得に対して、視覚情報の提示（イラスト等）各自の発達状況に合わせた指導を実施していきます。 ●リハビリテーションの実施・・・理学療法士、作業療法士などの専門職が子どもの障害特性にの応じて必要な個別の機能訓練を提供していきます。	
本人支援　運動・感覚	●姿勢保持と運動・動作の基本的技術の向上・・・専門職が一人ひとりの子どもを適切に評価し、日常生活に必要な動作の習得を個別に提供していきます。発達段階及び特性に配慮した視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるような遊び（新聞遊び・ボールプール・トランポリン等）を実践していきます。 ●感覚の特性への対応・・・専門職が適切に評価を行い、感覚過敏や鈍麻を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の提案および支援を行います。	
本人支援　認知・行動	●認知や行動の手がかりとなる概念の形成・・・物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間と時間の概念の形成を図ることによって、それらを認知や行動の手がかりとして活用できるように、認知教材を活用しその向上に取り組んでいきます。	
本人支援　言語コミュニケーション	●受容言語と表出言語の支援・・・子どもの発達段階に応じて話ことばや各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行います。 ●他者との相好作用によるコミュニケーション能力の獲得・・・小集団活動の共同作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上を行います。	
本人支援　人間関係社会性	●アタッチメント（愛着行動）の形成・・・身近な人との親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を実施していきます。 ●集団への参加の支援・・・一人ひとりの発達段階や特性に応じた環境調整並びに関わり方の提案を行います。手順やルールを理解し、自発的に集団活動に参加できるよう支援していきます。	
家族支援	●子育て上の課題の聞き取りと必要な助言 ●子どもの発達上の課題について気づきの促しとその後の支援	移行支援　●並行通園の場合は、利用日数や時間などの調整 ●移行先との援助方針や支援内容などの共有と支援方法の伝達 ●家族への情報提供や移行先での環境調整
地域支援・地域連携	●保育所等の子育て機関との連携（保育所等訪問支援） ●自立支援協議会への参加 ●教育機関の関係機関との連携など	職員の質の向上　●虐待防止に関する研修　●人権擁護に関する研修　●身体拘束防止に関する研修　●感染症の予防及び蔓延防止に関する研修　●リスクマネージメントほか
主な行事等	●端午の節句　●七夕　●クリスマス　●ひな祭り	